

会 議 録

会議の名称	白岡市介護保険等運営協議会第7回会議
開催日	平成29年11月16日(木)
開催時間	午後1時15分 開会・ 午後3時15分 閉会
開催場所	白岡市役所4階 特別大会議室
会長の氏名	浅井 嘉一
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	北村 秀和 伊藤 昌美 中村由美子 山崎 文博 久野 和雅 川島 勉 西田 隆 関根 芳郎 浅井 嘉一 長谷川 博 齋藤 恵生 浅野 悦子 12人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	木下 健輔 1人
説明員の職・氏名	高齢介護課 主幹 齋藤 三彦 高齢介護課介護保険管理担当主査 島村 哲也 高齢介護課介護保険管理担当主事 松本 拓也
事務局職員の職・氏名	健康福祉部長 八木橋昌美 高齢介護課 課長 黒須 靖之 高齢介護課 主幹 齋藤 三彦 高齢介護課地域支援担当主査 吉田 宏 高齢介護課介護保険管理担当主査 島村 哲也 高齢介護課介護保険管理担当主事 松本 拓也
その他会議出席者の職・氏名	株式会社ぎょうせい 亀井恵美子 株式会社ぎょうせい 青柳 由衣
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題・報告事項 (1) 白岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画(素案)について (2) 第7期介護保険基準額(案)について

	<p>(3) 地域密着型サービス事業者等の指定に係る同意について</p> <p>(4) 地域包括支援センターの運営業務委託について</p> <p>(5) その他</p> <p>4 閉会</p>
<p>配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白岡市介護保険等運営協議会第7回会議次第 ・ 白岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画(素案) ・ 第7期計画期間における白岡市介護保険料の設定について ・ (参考)埼玉県内市町村の介護保険料設定状況 ・ 地域密着型サービス事業者等の指定に係る同意について ・ 平成30年度白岡市地域包括支援センター運営業務委託公募型プロポーザル実施概要

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
課 長	開会に当たり、会議出席者に謝意を述べ、開会を宣す。続いて、会長にあいさつを願う。
会 長	あいさつを行う。
課 長	会長が議長となり議事を進めるよう願う。
会 長 (議 長)	議事を進行する旨宣する。 (1)白岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画（素案）について
議 長	続いて、本日の議題・報告事項の「(1)白岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画（素案）について」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。
事 務 局	資料の白岡市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画(素案)に基づき説明を行う。
議 長	質疑がないか、委員に諮る。
A 委員	高齢者が増加しているので、施設であったり、介護事業者だけでは難しい。地域の方々も自分たちで介護するという意識を高めていかないといけないと感じている。 前回の会議のときに、B委員が地域の方々の心構え・覚悟がある程度必要だと言われていたので、その辺りを啓蒙していけたらいいと思う。施設の方でもそういう風に取り組んでいきたいと思っており、他の事業者や市役所の方と一緒にやっていただけると、とてもやりやすいのではないかなと思う。

<p>C 委員</p>	<p>計画素案の 25 ページに、ケアマネジャーの調査があり、介護保険・福祉サービス以外に必要な手助けとして、8 割近くの方が、病院の付き添いを挙げている。ヘルパーなどでは、こういった対応が難しいかと思う。中には家族もいない方や、遠くにいて付き添えない方もいると思う。仮にボランティアが付き添ったとしても、先生によっては家族でないと病状を伝えない場合もあり、難しいと思う。施設でも容体が悪くなって、病院にお連れする場合があるが、ご家族が間に合わない場合もある。</p> <p>26 ページの連携をとりたい機関のところで、地域包括支援センターや医療機関が挙げられているが、具体的にどのような連携をとりたいのかというところまで掘り下げると良いかと思う。</p>
<p>B 委員</p>	<p>個人的には、容体が悪い方でも受けられるサービスがあると助かると思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>B 委員におっしゃっていただいたことについては、地域密着型サービスの看護小規模多機能型居宅介護という事業になり、当市としても、こちらは今後必要になってくるサービスだと感じており、今回の計画の中で整備するという形で挙げた。</p>
<p>D 委員</p>	<p>その件に関し、近所の一人暮らしの高齢者で、家族が遠くにいてすぐには来られない方がおり、つい最近、その方が転倒してけがをしまい、相談を受けた。</p> <p>また、介護保険を持っていて、ホームヘルプサービスを受けていても、けがをしまうと、家での生活が困難になってしまうという相談を受けた。</p> <p>いろいろな病気を持っていて、大勢の人と生活できない場合もあり、通常のデイサービスを利用できない人もおり、そういった方を受け入れる施設が必要だと感じている。</p>

議 長	<p>そうしたケースは身近にあると思うが、その近所の方は、近くに親戚もいるのか。</p>
D 委員	<p>親戚は近くにいるようだが、その親戚の方たちも高齢でなかなか来ることができないようだ。そういった状況を知っているので、近所の人たちが見守っている。</p>
E 委員	<p>私の周りには元気な人が多く、現状としては、あまりそういったことは聞かない。逆に、あまり元気のない人は老人会にも来ないのかもしれない。</p>
F 委員	<p>私も仕事をしていて、お年寄りと接することが少ないが、介護予防教室（シニア元気アップ教室）に参加して、スタッフの方に非常にお世話になっている。友達ができたりもして、介護予防が非常に大切だと感じている。私の家は老人福祉センターが近いため、歩いていけるが、お年寄りになると、運転もできなくなるので歩いて行けるようなところにそういった施設を作ってもらえると、もっと参加する人が増えるのではないかと思う。</p> <p>また、説明の中で関心があるのは、地域包括ケアシステムについて、2025年までの最終目標と、第7期期間で何を達成させるのか、全体の進捗が分かるような図をつくってもらえるといいと思う。</p>
G 委員	<p>民生委員になって5、6年が経つが、相談を受けていると、一人暮らしの人の方がしっかりしている。家に誰かがいると、かえって、甘えてしまっているように感じる。</p> <p>地域によって、どこまで心を開いてくれるかが違うが、やっとなる程度踏み込めるようになったように思う。</p>
H 委員	<p>60ページにあるように、老人クラブは最初3クラブしかなかったが、今はウォーキング・写真・絵などが増えてきた。交付金の関係で、連合会から活動費を助成しているので、予防に貢献できていると思う。</p> <p>クラブに入っている老人は元気な人が多く、クラブに入っていない人も</p>

事務局	<p>健だま教室にはたくさん参加している。</p> <p>予防については、職員の方が力を入れているのではないかなと感じている。</p> <p>今後は、交通の便についてはかなり検討してもらいたいと思う。私も公共交通機関等にお世話になる機会が増えると思うし、周りからも困っているという声を聞いている。のりあい交通は、帰りが不便だという話を聞く。</p> <p>H委員のおっしゃるように、白岡市が進めてきた介護予防事業の芽が少しずつ出てきたと感じている。</p> <p>また、交通の便が悪いという話については、これからの課題として、今後の計画をどのように運営していくか考えていきたい。</p>
A委員	<p>交通の便について、施設に家族が面会に来られるのにも苦勞するという話を聞く。</p> <p>もっと困っているのは、近くにスーパーがないので買い物にすら行けないと、菁莪地区の方がおっしゃっていた。そこは、どうにかすべき問題であると考えている。買い物バスなどで、週に一回スーパーに行けるだけでだいぶ生活が変わって地域のためになると感じている。</p>
議長	<p>そういった地域での買い物バスを仕立てたり、買い物のためのサービスなどの計画はあるのか。</p>
事務局	<p>47ページに、生活支援体制整備事業について記載があるが、その中の、ささえあいミーティング白岡では、民生委員や老人クラブ、シルバー人材センター、商工会などに出席してもらい、地域に足りないものや、地域に必要なものを話し合っている。そこでも菁莪地区などの話題が出ている。のりあい交通の便が良くないという意見も伺っている。白岡市では行っていないが、訪問型サービスDは移動支援となっている。国では、デイサービスで使っている送迎バスの使用していない時間を利用して、送迎を行う</p>

	<p>などということも考えて進めている。</p> <p>のりあい交通は市内限定など条件があったり、料金の問題もあるため、ささえあいミーティングで検討していきたいと思う。</p> <p>ささえあいミーティングは12名で行っており、まずは白岡市内の大きな問題から話し合いをしているので、今後、小学校単位を目標に、それぞれの地域の資源を調査して、助け合いを行えるように進めていく予定である。第二層となると、皆さまにもお声かけして地域のことに協力していただくこともあるかと思うが、その際は協力願う。</p> <p>(2) 第7期介護保険料基準額(案)について</p>
議長	次に、「(2) 第7期介護保険料基準額(案)について」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。
事務局	資料の「第7期計画期間における白岡市介護保険料の設定について」及び「(参考) 埼玉県内市町村の介護保険料設定状況」に基づき説明を行う。
議長	質疑がないか、委員に諮る。
I委員	保険料の段階によって上がり幅が高いように感じる。
J委員	保険料の段階は、どのような基準でつくられているのか。
事務局	<p>段階と保険料の調整率に関しては、自治体ごとに異なる。調整率も様々であるし、段階も白岡市のように17段階にしているところもあれば、10段階くらいで設定しているところもある。</p> <p>他に、埼玉県内ではどういった段階を設定しているのかを問い合わせしている。</p> <p>県内の段階で一番多いと思われるのが、白岡市と川口市で、川口市については、白岡市が17段階を2.15という調整率にしていることに対し</p>

	<p>て、17段階を対象者800万円以上に設定し、基準額は2.3倍である。より低所得者の負担感を減らして、高所得者の負担感を上げている。</p>
F委員	<p>埼玉県内で白岡市は保険料が15番目に低いということで、負担が少ないということは、負担者からするとありがたいが、逆に負担額を減らしているために、必要とされているサービスを提供できていないということはないか。</p>
事務局	<p>第7期計画期間における白岡市介護保険料の設定についてという資料の下の図を見ていただき、保険料の設定の仕方として、現在サービスを使われている方々の実績を基に、将来的にこのくらいサービスの利用が増えるのではないかとサービス見込み量を算出し、そのサービスを補えるだけの必要な保険料額を算出している。それを基に、それぞれの保険料を決めているため、サービスの利用者数を絞って介護保険料を下げているわけではない。</p>
F委員	<p>平成32年度の被保険者数と要介護認定者数が出ているが、この数字は他の市町村と比べると高いのか、それとも低いのか。</p>
事務局	<p>白岡市の認定率については低くなっている。</p> <p>サービス利用についても、認定を受けた方全員が受けるのではなく、その中の何割かが利用していくということになり、一概に認定者数だけでは判断できない部分はある。</p>
	<p>(3)地域密着型サービス事業者等の指定に係る同意について</p>
議長	<p>次に、「(3)地域密着型サービス事業者等の指定に係る同意について」の件を報告事項とすることを告げ、事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>資料の「地域密着型サービス事業者等の指定に係る同意について」に基づき説明</p>

	<p>を行う。</p>
議 長	<p>昨今の住宅事情あるいは家庭・家族の状況の中で、地域を変えるということは非常に考えられることだと考えているが、各施設の担当はどう感じているか。</p>
B 委員	<p>以前からたくさんあると思う。自分の両親と配偶者の両親の両方を介護しないといけないということも聞く。</p>
議 長	<p>私の知り合いも、両親は九州にいて苦勞している。また、お年寄りを自宅に呼んで、近くのデイサービスに通うということも聞いたので、地域を変えるということは多いと私は実感している。</p>
A 委員	<p>特別養護老人ホームなどで様々な地域の方が入られているところもあるが、特に認知症の高齢者だと、地理の話の辻褄が合わないなと思うと、白岡の人ではない場合がある。住み慣れたまちでそのまま最期まで暮らしていきたいのであれば、在宅で見ていく施設を強化していく必要があるかと思う。本当は自分のまちの方がいいのだろうということは感じている。</p>
議 長	<p>世の中や家族関係が変わりゆく中で、地域を異にするこのテーマはこれから増えていくと思うが、事務局はどのように考えているか。</p>
事務局	<p>地域を変えるということは、認知症の予防のためには良くないことであり、地域密着型サービスもしくは地域包括ケアシステムの構築が重要になってくると思われる。今後は当市としても、地域包括ケアシステムの構築に向けて計画を立てていきたいと考えている。</p> <p>(4) 地域包括支援センターの運營業務委託について</p>
議 長	<p>次に、「(4) 地域包括支援センターの運營業務委託について」の件を議題とす</p>

	<p>ることを告げ、事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>資料の「平成30年度白岡市地域包括支援センター運営業務委託公募型プロポーザル実施概要」に基づき説明を行う。</p>
A委員	<p>地域包括支援センターについて、特別な課題は感じていない。先日開催された地域ケア会議では、地域包括支援センターの案件ばかりだったように感じたので、他の案件も取り上げてもらえるように、声かけを行うとよいのではないか。</p>
事務局	<p>他の事業所にも声をかけるように働きかけたい。</p>
C委員	<p>今年度新たにウエルシアハウスが始めて、変わったことなどがあればお聞きしたい。</p>
事務局	<p>ウエルシアハウスは、民間企業である。これまで地域包括支援センターの運営は、社会福祉法人や病院などが多く、民間企業は少ない。民間企業と社会福祉法人とでは性質が違うところもあるため、去年プロポーザルを行うにあたって、地域に出て行ってほしいということを伝えている。地域に出ないと現状は分からないということもあるし、研修等にも参加をして、いろいろな人と交流をして情報共有を行うのは重要なことである。県や国の研修にも参加してもらい、パワーアップしていただいている。</p> <p>2つの地域包括支援センターで、相談だけでも1,200件近くあり、見守り等、業務は多岐に渡るが、さらに地域のためにできることを地域包括支援センターや関係機関と連携しながらやっていきたいと考えている。</p>
議長	<p>金額の方でもいろいろと言われるところであるため、適正な金額で適切なサービスが提供いただけるようにと私も感じている。</p> <p>(5) その他</p>

議 長	次に、「(5) その他」の件を報告事項とすることを告げ、事務局に説明を求める。
事務局	次回の運営協議会の日時及び報酬等の支払いについて説明を行う。
議 長	全体を通して質疑はあるか。
F 委員	プロポーザルの件については、人員は4名とのことであるが、新たに採用するということか。
事務局	3職種については、白岡市に限らず置かなければならないということになっており、さらに仕事が多岐に渡ることを踏まえて、4人とした。
F 委員	職員については今までいた方が続けるのか、新しく採用するのは事業所の判断でよいか。
事務局	事業所の判断でよい。
K 委員	<p>会議の冒頭で、地域の方は地域が支えるという話があったので、私の経験をお話したい。</p> <p>月に1回訪問していた高齢者がいたが、転ばれて、思うように動けなくなってしまったことがあった。近所の方がよく気遣って面倒をみていただいていたので、非常に喜んでいたが、息子があまり良く思わなかったようで、近所の方が手を引いてしまったという話を聞いて残念に思った。一人暮らしのお年寄りが一人で生活していくには困難な状況であるため、ケースごとに事情は異なると思うが、これからもお年寄りがなんとか生活していけるような支援をいただければと思う。</p>
議 長	議事全件終了の旨を述べ、委員の協力に対し謝し、議長を降りる。

課 長

以上で、本日の議事全件終了を述べ、慎重会議を謝し、閉会を宣した。